

# 渡良瀬遊水地 将来ビジョン

遊水地の貴重な生態系を守るため、湿地の保全・再生を図る。

保全  
再生

賢明な  
利用

賢明な利活用を図り、遊水地及び周辺地域の地域振興を図る。

ラムサール条約  
3つの柱

人々の参加・交流や情報交換、教育啓発活動を進める。

交流  
学習

渡良瀬遊水地はこれまで条約の目的とともに治水・利水機能の維持及び向上と自然環境の調和を進めてきました。  
今後の渡良瀬遊水地はそれらに加え、様々な人々が交流し、それによって人々の生活をより豊かにしていけるような場所を目指していきます。

行動理念の策定

# 行動理念

## 1. 知る

- ・ 渡良瀬遊水地の現状を調査・分析していきます。
- ・ ホームページやSNS等で積極的に情報発信をします。
- ・ 若い世代の環境教育を充実させていきます。

## 2. 来る

- ・ わかりやすい案内などアクセスの向上に努めていきます。
- ・ だれもが参加できる魅力的なイベントを開催します。
- ・ 利用者間でのルールやマナーを検討・改善・周知していきます。

## 3. 繋がる

- ・ 市民、民間、NPO、行政が一丸となり取組を推進します。
- ・ コウノトリ・トキのような新しい魅力を発展させ地域振興に繋げていきます。
- ・ 海外からも訪問者が来るように取組を発展させていきます。

# 渡良瀬遊水地宣言

渡良瀬遊水地の将来 ～ラムサール条約登録 10 年を迎えて～

渡良瀬遊水地は、2012 年（平成 24 年）7 月にラムサール条約に登録されてから 10 年、1922 年（大正 11 年）に遊水地化事業が完了してから 100 年が経過しました。

渡良瀬遊水地では、豊か自然環境を守るための活動やオープンスペースを活用した様々な活動が行われてきました。

また、近年では、平成 27 年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風の際には、渡良瀬遊水地本来の役割である治水機能を発揮し、利根川流域における住民の生命財産を守ることとなりました。

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会では、渡良瀬遊水地の将来を見据え、様々な人々が交流し、それによって人々の生活をより豊かにしていけるような場所を目指し、以下の点に取り組むことを決意しました。

## 1. 知る

- ・ 渡良瀬遊水地の現状を調査・分析していきます。
- ・ ホームページや SNS 等で積極的に情報発信をします。
- ・ 若い世代の環境教育を充実させていきます。

## 2. 来る

- ・ わかりやすい案内などアクセスの向上に努めていきます。
- ・ だれもが参加できる魅力的なイベントを開催します。
- ・ 利用者間でのルールやマナーを検討・改善・周知していきます。

## 3. 繋がる

- ・ 市民、民間、NPO、行政が一丸となり取組を推進します。
- ・ コウノトリ・トキのような新しい魅力を発展させ地域振興に繋げていきます。
- ・ 海外からも訪問者が来るように取組を発展させていきます。

令和 4 年 7 月 3 日 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会